

# 見せましょう! オイスカの底力を

**13** 気候変動に  
具体的な対策を



**15** 陸の豊かさも  
守ろう



**9** 産業と技術革新の  
基盤をつくろう



**11** 住み続けられる  
まちづくりを



**17** パートナーシップで  
目標を達成しよう





上/計測作業も困難なほどに育っている2014年植栽地  
下/高品質の苗を生産する「名取市海岸林再生の会」メンバー

まもなく、震災から9年半を迎えます。のちに「名取市海岸林再生の会」(以下、再生の会)のメンバーとなる皆さんと避難所でお出だったのが、震災から2カ月が過ぎた5月24日のこと。2012年3月に初めて種を蒔き、2年間の育苗を経て14年4月に初植栽したクロマツ約8万本の平均樹高は、昨年11月の計測で3m以上、部分的には5mを超える

910日間。これは、東日本大震災直後から、宮城県で進む「海岸林再生プロジェクト」を担当してきた吉田俊通が、東京にあるオイスカ本部を拠点にしなが、この9年間で現場に滞在した日数である。都内で国との連携を図り、国内外の支援者への報告などを重ねながら、現場に足を運んできた吉田が、コロナ禍における現在のプロジェクト、そして自身の思いを綴った。

区域も見られました。その14年植栽地は、6年間徹底して下草刈りを行った結果、今期からの草刈りは管理道のみとなりました。今後は除伐とツル切りを経て、40年かけて5分の1の本数に仕立てる本数調整を行っていくこととなります。

「海岸防災林」は樹高も大事ですが、太く、より低い位置から枝が生えた「ずんぐりむっくり」の形であること、隣のマツ

## 〈2019年度活動実績〉

	内容	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	累計
育苗	クロマツなど播種数	—	97,500	72,500	87,250	89,856	96,400	57,000	45,800	3,000	549,306粒
	植栽面積	—	—	—	15.67	10.06	11.00	13.66	16.32	2.00	68.71ha
植栽	植栽本数	—	—	—	80,182	55,084	56,037	71,945	81,600	6,000	350,848本
	雇用	育苗・造林・育林における雇用数	—	187	658	1,402	1,150	1,274	1,469	1,329	979
市民参加	現場ボランティア数	—	—	262	1,365	1,691	1,800	2,096	2,273	1,892	11,379人
	現場視察者数	263	580	837	567	577	168	231	132	44	3,399人
	活動報告会開催数	4	43	28	30	30	26	30	22	24	237回
	活動報告会参加者数	523	4,772	5,900	4,692	4,996	3,893	5,911	4,178	3,347	38,212人
メディア	国内新聞・雑誌・テレビ・ラジオなど紹介回数	24	39	27	33	38	20	23	21	7	232回

※前年度の活動報告会開催数の実績に誤りがありましたので、本表にて修正しました



上／全国から多くのボランティアが参加。レポート率は4割以上  
中／地元の若者のボランティア参加もこの春は断念。写真は花壇自動車大学の学生たち(19年5月)  
下／海外のオイスカ組織スタッフを招聘してのEco-DRR研修を実施

との間隔などが問われます。これまで、育苗の段階から再生会の皆さんが高品質苗木を追求し、宮城中央森林組合や松島森林総合のプロの方々の技術に頼り、ボランティアでそれを補うという人海戦術、チームプレー、バトンリレーの結果、クロマツは惚れ惚れする若者に育ってきたと思います。

今回は10年目の節目の年、大々的な募金活動も最終年度と想っていたところに新型コロナウイルス襲来となりました。3月以降、700名ものボランティアをお断りし、富山県を皮切りに、愛知県、埼玉県、東京都、宮城県などで開催を予定していた活動報告会も取り止めとなりました。

ました。寄附も大きく落ち込む可能性があると考えております。しかし、その緊急事態宣言下においても、仙台空港真東の旧北釜地区宅地の一部と乗馬場跡地6・42haが、協定面積に追加され(合計103・04ha)、県内最後の植栽を開始。下刈りも例年通り、5月末からプロの手で行っています。宮城の皆さんの底力で、成すべき時に成すべきことを確実に進め、安定雇用を継続しています。

およそ2ヵ月、現場からも本部事務所からも離れ、この文章は、在宅勤務中の5月末、東京の自宅で書いています。震災直後の4月、楽天ゴルフデンイーグルス嶋基宏主将(当時)が訴

えた「絶対に見せましょう! 東北の底力を」のスピーチを久しぶりに聞きました。あの頃も奮い立ったこの言葉を胸に、あらためて、第2次、第3次10ヵ年計画に向かって進みたいと思っています。

焦りはありません。逆境は必ず来ると想定して、先手必勝を心掛けた9年半でした。いまや海岸林チームは、頼れる大きなチームとなりました。そして、今後はこのプロジェクトのエッセンスを世界各国に伝え、その仲間とともにEco-DRR(森林など生態系を活用した防災・減災)やSDGs達成への活動の一端に活かします。ぜひ皆さんのお力をお貸しください。

〈2019年度収支報告〉

単位:円

項目	2019年度内容	2019	累計(2011年~)	
収入	募金・寄附金など	73,695,819	732,057,472	
	民間助成金	2,696,320	49,526,574	
	前期繰越金	33,188,843		
	合計	109,580,982	781,584,046	
支出	育苗事業	「名取市海岸林再生の会」への育苗事業委託等	6,897,015	152,627,008
	造林・育林事業	宮城中央森林組合等への植栽・施肥・下刈・除伐委託等	24,601,746	200,077,522
	調査事業	モニタリング調査	75,730	11,337,601
	啓発普及事業	活動報告会、視察会、支援者コミュニケーション等	21,823,126	112,853,133
	支出総額		53,397,617	476,895,264
	次期繰越金		23,478,001	23,478,001
	特定費用準備資金※	2021年以降の長期育林費用として	32,705,364	281,210,781
	合計		109,580,982	781,584,046

※公益法人が、実施期間や内容などが明確な事業に対し、将来の計画的な実施のために積み立てる資金のこと。内閣府に提出した計画に基づいて積み立てられます

コロナ禍により、寄付先団体に認定されていた大阪マラソン2020も中止となりました。ですがプロのみなさんの動きは例年通りを維持し、6月20日からは宮城県民だけでボランティアを再開しました。今年のクロマツは、これまで以上の伸びを見せています。多くの皆さんの熱意と愛情、汗が注がれてきたおかげです! 予定通り募金活動は今年度で終了します。引き続きご協力のほど、よろしく願いたします。



プロジェクト担当部長  
吉田俊通